

# インフルエンザ点鼻ワクチン「フルミスト」について

今年の10月よりインフルエンザの点鼻タイプの弱毒化生ワクチン「フルミスト」が第一三共株式会社より発売されました。

フルミストは、鼻にスプレーするタイプのインフルエンザワクチンで、弱毒化され病気を起こす力はほとんどなく、25℃の低温で増殖するものの比較的高温の下気道（気管支・肺）では増殖できないため、インフルエンザのような強い症状は引き起こさないようになっています。

インフルエンザウイルスの一般的な侵入口である鼻の粘膜に免疫を誘導することにより高い感染防御効果が期待でき、同時に血液内にも免疫を成立させることにより感染してしまった場合でも重症化を抑制すると言われています。また効果の持続も皮下注射によるワクチンより長く、皮下注射の効果が約5か月間持続するのに対し、フルミストでは約1年効果が持続するとされています。

注射の不活化インフルエンザワクチンと同様に、インフルエンザウイルスに対する予防接種として広く使用されており、安全性・有効性ともに確立されたワクチンです。

## 感染防御効果

皮下注射によるインフルエンザワクチンは、血液中にインフルエンザウイルスに対する免疫を誘導するために、重症化抑制効果は期待できるものの、感染自体を防御する効果は十分でない場合があります。一方でフルミストは粘膜の表面に直接免疫を成立させ、気道分泌型IgA抗体を誘導することにより、従来の皮下注射のワクチンに比べて予防効果が高いと言われています。

また、皮下注射のワクチンはワクチン株が流行しているインフルエンザワクチンと株が異なる場合は効果を発揮できませんが、フルミストは生きたウイルスで免疫を作るため、流行しているインフルエンザと株が違っていても発症を軽症化させる作用があります。

CDCガイドラインでは接種後2週間でワクチンの効果が得られるとされています。

## 接種対象及び回数

今回承認された接種対象は、2歳から18歳までの方です。

接種回数は年齢にかかわらず、毎年1回でよいとされています。

経鼻生ワクチンでは他のワクチンとの間に接種間隔を空ける必要はありませんので、他のワクチンの接種歴・接種予定にかかわらず接種いただけます。

## ワクチン接種ができない人

- 2歳未満、19歳以上の方
- 卵白やその他のワクチン成分に対して重度のアレルギーやアナフィラキシーの既往がある方
- アスピリン服用中の方
- 免疫を低下させる疾患やステロイド・免疫抑制剤の内服により免疫が著しく低下している方、

- または免疫力が著しく低下している人と同居している方
- 明らかな熱（37.5度以上）がある方
- 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 妊娠していることが明らかな方
- 重度の喘息を持っている方

#### フルミストの副反応

- ワクチン接種後にくしゃみが出たり、喉に垂れたりすることがあります（飲み込んでも特に問題ありません）。
- 30～40%の人で接種後3日～7日までに鼻汁・鼻閉・咽頭痛・咳などの感冒症状が、数%の人で発熱が出る場合があります。
- まれではありますが発疹、じんましんの他にアナフィラキシーショックやギランバレー症候群のような重い副反応を起こす可能性は、他のワクチン同様否定できません。

#### フルミストのメリット

- 鼻腔内に噴霧に適した濃度・成分調整された薬液を噴霧するため痛くありません。
- インフルエンザの感染経路である鼻咽頭で免疫が作られるため、高い発症予防効果が得られます。
- 予防接種のインフルエンザ株と異なる株が流行した際にも、皮下注射のワクチンと異なりワクチンの効果が期待できます。
- ワクチンの効果は1年くらい持続します。
- 小児で特に予防効果が高いとされています。
- 12歳以下のお子様でも年1回の接種でよいとされています。

#### フルミストのデメリット

- 30～40%の人で接種後3日～7日までに鼻汁・鼻閉・咽頭痛・咳などの感冒症状が出る場合があります。
- 接種年齢に制限があります。

#### フルミストの接種金額

1回 8500円（税込）

※田村市のインフルエンザ点鼻弱毒化生ワクチン助成は3,100円です。